

平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社 オーネックス  
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大屋 和雄  
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	2,507	△4.4	138	△24.8	144	△23.8	79	△33.0
27年6月期第2四半期	2,622	7.3	183	—	190	969.9	119	625.6

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 69百万円 (△52.9%) 27年6月期第2四半期 147百万円 (350.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	4.81	—
27年6月期第2四半期	7.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第2四半期	9,331	5,356	57.4	323.38
27年6月期	8,479	5,319	62.7	321.18

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 5,356百万円 27年6月期 5,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,438	4.4	201	△35.7	208	△35.8	85	△55.6
								5.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期2Q	16,600,000 株	27年6月期	16,600,000 株
② 期末自己株式数	28年6月期2Q	36,703 株	27年6月期	36,103 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期2Q	16,563,725 株	27年6月期2Q	16,565,539 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の定着化及び経済政策の効果により、緩やかな回復基調が続き、雇用、所得環境は改善傾向にあります。また産油国の足並みの乱れ等により、原油価格は低下しました。

海外の景気動向は、米国・欧州の消費、生産は緩やかに増加し回復基調にあるものの、原油価格低下による産油国経済への影響懸念、中国経済の減速や世界的な政情の緊迫化等による先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車部品、建設機械、産業工作機械の中で、自動車部品関連受注は新規取引先の受注増加により増加したものの、建設機械関連受注、産業工作機械関連受注は中国の成長鈍化等により外需が低調に推移したため、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して減収となりました。一方で、ガス・電力費等の製造コストが減少し、経費の削減に努めたものの、設備増強に伴う減価償却費、連結子会社株式会社オーネックステックセンターの操業開始に伴う立ち上げ費用の増加があり、前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,507百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は138百万円（同24.8%減）、経常利益は144百万円（同23.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円（同33.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、円安効果により輸出環境は好転していますが、外需の低迷により、輸出は弱含みで推移しました。主力取引業界である自動車部品関連需要は増加したものの、建設機械は引き続き低迷し、産業工作機械も中国の成長鈍化により需要が低下したため売上は前年同四半期比減収となりました。

また、ガス、電気料金の低下等のコスト削減に努めたものの、設備増強に伴う減価償却費の増加及び連結子会社株式会社オーネックステックセンターの操業開始に伴う立ち上げ費用があり、セグメント利益は前年同四半期比減益となりました。風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけておりますが、前年同四半期比横ばいで推移しました。

これらの結果、売上高は2,221百万円（前年同四半期比4.3%減）、セグメント利益は101百万円（同33.3%減）となりました。

#### ②運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は堅調推移しました。また、軽油価格は低下し、傭車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は285百万円（前年同四半期比4.8%減）、セグメント利益は22百万円（同31.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して852百万円増加し、9,331百万円となりました。これは主に現金及び預金が367百万円、建設仮勘定が244百万円減少したものの、建物及び構築物が603百万円、機械装置及び運搬具が785百万円増加したことなどによるものです。

##### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して815百万円増加し、3,975百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が40百万円、1年以内償還予定の社債が73百万円減少したものの、長期借入金が929百万円増加したことなどによるものです。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して36百万円増加し、5,356百万円となりました。これは主に利益剰余金が46百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が10百万円減少したことなどによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比較し367百万円減少し1,606百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は127百万円（前年同四半期は316百万円）となりました。これは主に未払消費税等59百万円の減少、法人税等の支払額97百万円があったものの、税金等調整前当期純利益154百万円、減価償却費188百万円などを計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,247百万円（前年同四半期は480百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得に1,225百万円支出したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は753百万円（前年同四半期は477百万円）となりました。これは主に長期借入による収入1,112百万円があったものの、長期借入金の返済183百万円、社債の償還110百万円などの支出を行ったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年8月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っておりません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983,073	1,616,046
受取手形及び売掛金	1,466,711	1,309,787
電子記録債権	280,682	364,439
製品	17,328	18,334
仕掛品	32,091	25,721
原材料及び貯蔵品	82,474	80,399
繰延税金資産	16,351	15,230
その他	121,864	242,882
貸倒引当金	△337	—
流動資産合計	4,000,240	3,672,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	828,614	1,431,855
機械装置及び運搬具(純額)	295,918	1,081,790
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	120,531	119,359
建設仮勘定	247,334	2,900
その他(純額)	93,554	149,508
有形固定資産合計	3,861,804	5,061,265
無形固定資産	106,257	92,384
投資その他の資産		
投資有価証券	260,777	250,473
繰延税金資産	129,300	126,495
その他	118,519	119,620
投資その他の資産合計	508,596	496,589
固定資産合計	4,476,659	5,650,240
繰延資産	2,433	8,292
資産合計	8,479,333	9,331,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	219,889	179,236
電子記録債務	154,027	161,446
短期借入金	315,887	473,557
1年内償還予定の社債	148,000	75,000
未払金	141,462	136,788
未払費用	217,679	264,981
未払法人税等	102,381	75,542
賞与引当金	19,141	19,580
その他	240,681	263,034
流動負債合計	1,559,150	1,649,167
固定負債		
社債	167,500	130,000
長期借入金	811,645	1,583,524
退職給付に係る負債	476,443	469,945
その他	144,656	142,517
固定負債合計	1,600,244	2,325,986
負債合計	3,159,394	3,975,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,655,274	3,701,860
自己株式	△5,332	△5,421
株主資本合計	5,241,736	5,288,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,202	67,988
その他の包括利益累計額合計	78,202	67,988
純資産合計	5,319,938	5,356,221
負債純資産合計	8,479,333	9,331,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,622,056	2,507,131
売上原価	1,918,734	1,831,194
売上総利益	703,322	675,937
販売費及び一般管理費	519,559	537,673
営業利益	183,762	138,263
営業外収益		
受取利息	2,040	1,780
受取配当金	1,864	2,428
受取賃貸料	4,149	6,787
スクラップ収入	4,665	3,719
その他	6,449	5,122
営業外収益合計	19,169	19,837
営業外費用		
支払利息	7,369	9,484
支払手数料	4,407	3,581
社債発行費	809	—
その他	96	130
営業外費用合計	12,683	13,196
経常利益	190,248	144,905
特別利益		
固定資産売却益	2,097	5,627
保険差益	—	4,564
特別利益合計	2,097	10,192
特別損失		
固定資産除却損	3,120	573
その他	114	—
特別損失合計	3,234	573
税金等調整前四半期純利益	189,111	154,524
法人税、住民税及び事業税	75,962	68,631
法人税等調整額	△5,869	6,178
法人税等合計	70,093	74,810
四半期純利益	119,017	79,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,017	79,713

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	119,017	79,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,710	△10,213
退職給付に係る調整額	5,914	—
その他の包括利益合計	28,625	△10,213
四半期包括利益	147,643	69,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,643	69,500
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	189,111	154,524
減価償却費	161,686	188,896
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,198	△6,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	819	438
受取利息及び受取配当金	△3,904	△4,209
支払利息	7,369	9,484
固定資産除却損	3,120	573
売上債権の増減額(△は増加)	△73,647	73,166
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,748	7,439
仕入債務の増減額(△は減少)	14,759	△33,234
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,989	△59,868
その他	47,374	△100,327
小計	384,624	230,386
利息及び配当金の受取額	3,904	4,209
利息の支払額	△7,755	△9,850
法人税等の支払額	△64,455	△97,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	316,317	127,593
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△466,511	△1,225,820
無形固定資産の取得による支出	△2,599	△15,532
投資有価証券の取得による支出	△1,745	△2,163
その他	△9,667	△4,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△480,523	△1,247,969
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	650,000	1,112,930
長期借入金の返済による支出	△117,246	△183,381
社債の発行による収入	100,000	—
社債の償還による支出	△89,000	△110,500
リース債務の返済による支出	△33,572	△32,638
配当金の支払額	△32,893	△32,972
その他	△230	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	477,058	753,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	312,852	△367,027
現金及び現金同等物の期首残高	1,927,783	1,973,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,240,636	1,606,046

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,321,664	300,392	2,622,056	—	2,622,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	132,921	132,921	△132,921	—
計	2,321,664	433,313	2,754,978	△132,921	2,622,056
セグメント利益	152,092	16,842	168,935	14,827	183,762

(注) 1. セグメント利益の調整額14,827千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,221,193	285,937	2,507,131	—	2,507,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	128,831	128,831	△128,831	—
計	2,221,193	414,769	2,635,962	△128,831	2,507,131
セグメント利益	101,750	22,221	123,971	14,292	138,263

(注) 1. セグメント利益の調整額14,292千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。